

boater hat kit for doll

ラフィアはラフィア椰子の葉から採れる天然繊維、軽く丈夫です。

その柔らかな繊維をかぎ針で編んだり、コイリングしたりと様々な技法でバッグや帽子が作られています、繊維1本1本をブレード状に編んだバッグや帽子はとても丈夫、未永く使えるものになります。

使うほどに樹脂によって艶と柔らかさが増す魅力的な素材『ラフィア』でハットを作りましょう。

KIT



ラフィアブレード
&
ハットブロック



とじ用ラフィア
(太い場合は裂いて
細くして使ってください)
&
まち針 (6本)
(ハットブロックに
ブレードを固定します)



リボン



とじ針 / マーカー
&
QR コードカード

はじめに

わかりやすくする為、赤色のラフィアを使用します



表面

こちら側を見ながら時計回り
とじていくイメージです



裏面

ハットの内側になる面です



とじ用
ラフィア

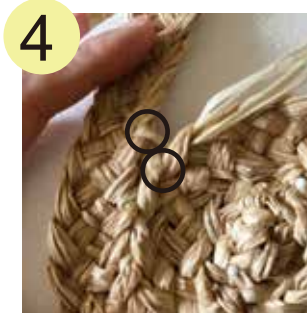
短くなったら

ひとつ結びで繋ぐ
(ご存知の方はハタ結び)
lolo Basketry HP トップペー
ジの最下部にハタ結びの動
画があります。



○印の部分「目」、すでに
とじてある方を「下の段」、
これからとじる方を「上の段」
と呼び説明します

作り方



ハットブロックの中心に途中までとじられているハットをまち針で固定します (1)。

表面が上になるように置いてください。ハットについているとじ用のラフィアをとじ針に通し、上の段、下の段と基本的には交互に向かい合う目を拾いとじていきます。

2、3のように目は必ず下からすくうように拾います。目をとじ針で割ることなく、ひとつ目は全て拾います。とじる際の力加減はとじ用のラフィアが見えなくなる程度。弱いと表面に見えてしまいます 4。とじ用ラフィアが見えなくなる程度の力加減 5。

6



トップは平らにする必要がある為、上の写真のように向かい合う目を交互に拾うと（同じ色の丸印）、目同士が遠く、ブロックに沿わせていても平らにできていくことができます。

7



そのようなときは★印と●印をとじるところを、★印の目はひろわずに（飛ばす）、●印と●印をとじるように適宜調整する必要があります。**※これはブリムをとじる時も同じです。**

8



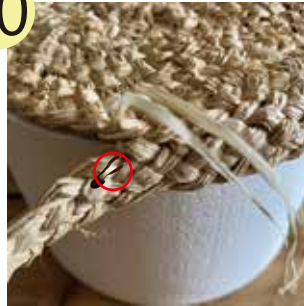
とじ進めながら適宜マチ針を増やし固定してください。

9



トップから側面へ

10



側面に入ったところでマーカーを付けます。

11



ブロックとハットの間には隙間がないようにしてください。

12



13



マーカーから6周したところでブロックからはずします。**12**

ブリムをとじます。ハットの表面を見ながらとじ進めてきましたが、クラウンの最初の1周は裏を見てとじます。とじ針に通したラフィアを裏に出してください。**13**

ブリムの最初の1周はかるく斜めに巻きかかっていくイメージです。（上段はひと目置きに飛ばす、下段も斜めに巻きかかる流れで適宜飛ばすくらいが目安です。※この1周は目の拾い方が違います。（**14 15**写真参照）

あまり強く引いてとじると形が歪みやすいので気を付けましょう。

14



下段の目を拾うとき

15



上段の目を拾うとき

16



立ち上がり位置を時計の2時の方向に置いたとき、9時と3時のあたりで下段だけをつづけて2～3目拾うことによってスリットが入ります。（リボンを通すための切れ込み）スリットはリボンを通す予定がなければ作る必要はありません。

17



ブリムを1周とじたところ

18



ブリムの2周目からはまた表面を見てとじ進めます
(下段を拾うとき)

19



上段を拾うとき

20



ブレードの残りが10cmほどになったら、内側に重ねてフェイドアウトするようにとじ終わります。クリップなどでブレードの終わりを留めると縫いやすいです。

21



目を拾わずなるべく縫い目が見えないように縫いましょう。

22



23



ブレードの終わりを写真のように本体にぐるぐるっと3~4回巻き付けて縫いとめます。

24



3針ほど本体に縫い付けて内側に出したところでカットして完成です。



リボンは後ろで結んでも…



目と目の間を通して下に垂らしても

lolo Basketry

